

富士吉田 市婦連だより

発行
富士吉田市連合婦人会



会長 渡邊 長富江

あいさつ

早春が感じられる季節となりました。(光陰矢の如し)富士吉田市連合婦人会も、早75周年を迎えようとしています。このように事業の推進を図って来られたのも、ひとえに会員の皆様のご協力はもちろん、お力を貸してくださった先輩の皆様方や行政の各課の皆様のおかげです。御礼申し上げます。

婦人会はボランティア団体として、他団体の方々と連携した活動を行う中、昨年10月、初の試みである、日本赤十字社山梨県支部と市赤十字奉仕団(婦人会)・市が連携し企業などへ訪問活動を行いました。

近年、大規模災害や台風による局地的豪雨による災害により、日赤の活動は重要性を増しますが、財源不足の



企業などを訪問し、日赤活動への協力依頼

為、一部事業を縮小しています。自然災害に備える赤十字の趣旨にご賛同いただいた18の事業者などから合計24万6千円のご協力をいただきました。

また、交通安全母の会の活動としては、毎月10日市内5ヶ所にて、交通安全を呼びかけております。警察の方々が、お忙しい勤務にもかかわらず、警察署長の計らいにより、毎回パトロール巡回をしてくださり、暑い日寒い日



デフリンピックを応援

交差点に立つ婦人会役員を激励してくださいました。

さらに、青少年健全育成において、青少年の実情を知ると共に、講演会や教育フォーラムに参加し、地域の見守りに生かしております。

この他、昨年はデフリンピックが東京で開催されたため、成功を祈るキャラバンカーが11月5日に富士吉田市役所を巡回。婦人会15名がサインエールで応援を盛り上げました。

このような活動をお勤めをしながら、婦人会役員を受けて頑張ってください。さら方々に、あらためて心から感謝いたします。

これからも市民の皆様のご支援とご理解を心からお願い申し上げます。



令和7年度定期総会 婦人会幹部研修会

4月18日、ふじさんホールにおいて、定期総会が開催されました。当日は、富士吉田市長始め、多くの来賓のご臨席を賜りました。

幹部研修会では、日本赤十字社山梨県支部の佐藤様より、スクリーン映像を用い赤十字奉仕団活動の様子などを講演していただきました。また、富士吉田警察署生活安全課の清水様より、詐欺が多発している今日の様々な手口等、詐欺被害防止について講演していただきました。

女性の視点から地域の活動に参加することにより、輪が継続し、さらに展開していくことを願っています。

富士吉田市婦連だより 第28号発刊に寄せて



富士吉田市長
堀内 茂

富士吉田市長あいさつ

「富士吉田市婦連だより第28号」のご発刊、誠にめでたくございます。

富士吉田市連合婦人会の皆様には、本市主催の「市民夏まつり」や「富士登山競走」等にご尽力いただきながら、交通安全母の会、日赤奉仕団も兼ねる等、多岐に渡りご活躍をいただいております。改めて、心より感謝と敬意を表します。

近年は、時代の変化とともに、人々との繋がりが希薄化し、隣近所でも関わりがなく、コミュニティの形成が難しくなっております。そのような中でも、皆様は、持ち前の結束を活かし、豊かな社会を実現するため、各種事業に対して多大なご支援とご協力をいただいております。

昨年は、その団結力と行動力を駆使し、日赤奉仕団会費の「支援の輪」を企

業まで広げる活動等にも取り組まれておりました。

内閣総理大臣に初めて女性が就任され、この国を牽引しているように、市政発展のためには、女性の活躍、ひいては皆様のような存在は不可欠であります。

今後、女性ならではの柔軟な視点や発想を生かしながら「市の明るい未来」を築いていくため、絶大なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、富士吉田市連合婦人会の今後ますますのご発展と会員皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。



富士吉田市議会議長
渡辺 新喜

富士吉田市議会議長 あいさつ

「富士吉田市婦連だより第28号」のご発刊、誠にめでたくございます。

富士吉田市連合婦人会の皆様には、日頃より地域の皆様の暮らしを支え、明るいまちづくりのためにご尽力いただき、心から感謝と敬意を申し上げます。

昨年は、度重なる物価上昇や自然災害の多発など、私たちの暮らしを取り巻く

環境が大きく変化した一年でした。そのような中であっても、地域の支え合いの心を大切に、子育て支援や環境美化、福祉活動などに真摯に取り組まれている婦人会の皆様の方に、多くの市民が励まされております。

人と人との繋がりが希薄になりがちな今だからこそ、地域の絆を守り、温かいまちづくりを進める皆様の活動は、まさに本市の大きな力です。どうか皆様におかれましては、婦人会活動の成果を共有し、次の世代へと繋がる交流の架け橋になることを願っております。

市議会といたしましても、皆様の思いに寄り添いながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

結びに、富士吉田市連合婦人会が渡辺会長のもと、ますます活躍されることをご祈念申し上げます。

赤十字本社見学研修

6月12日、梅雨曇りの中、赤十字本社と警視庁への研修が実施されました。

「救うべき命がある限り、災害・紛争への現場へ、敵・味方の区別なく救いたい」という思いから赤十字は誕生し、今もなお、献身的な救護活動が行われています。そして今、終決しない戦場で犠牲になっている人々を目の当たりにし、どう受け止め行動するのか、改めて考えたいと思われました。

警視庁本部見学では、事件史や防犯・防災等を学び、通信司令センターでは、東京の安全と安心が守られている事を実感しました。いつ起こるか分からない災害を見据え、防災・防犯を学ぶ良い機会となりました。



春の交通安全街頭指導

4月4日、春の交通安全街頭指導が実施されました。

富士吉田市長始め、交通安全に関わる方々が参加され、市役所交差点にて通勤時の通行を妨げないよう赤信号で停車しているドライバーに交通安全啓発グッズを配布し、交通安全の声掛けを行いました。ドライバーの皆様、停車中の短い時間にもかかわらずご対応いただき、ありがとうございました。

この活動が事故防止や安全運転、運転マナーの強化に繋がればと思います。



泉瑞祭



6月7日、泉瑞祭が行われました。この祭事は、富士吉田市民の生活を支えてきた湧き水に感謝し毎年実施されている伝統的な行事です。

今から830年前、源頼朝が富士の巻狩りの際に部下の将兵の喉を潤そうと神に祈り岩を鞭で打ったところ、霊水が湧き出したと伝えられています。

当日は晴天に恵まれ、現地で無事に式典が挙行されました。上吉田連合婦人会は富士吉田市連合婦人会の皆さまのお力添えをいただき、3曲の踊りを奉納できたことに心から感謝いたします。

南都留地域教育推進連絡協議会

6月18日、猛暑の中、勝山ふれあいセンターにおいて、教育推進連絡協議会が行われ、婦人会7名で参加して参りました。

大野歩先生による「架け橋期」を題目とした講演では、初めて聞く話や、私達の知らないところで色々な活動が行われていることに驚きました。

今後、何かお手伝いができる機会があることを願っています。



富士山開山前夜祭

6月30日、富士山の山開きを告げる開山前夜祭が行われました。婦人会も白装束を着用し、富士講信者の皆様とともにパレードに参加しました。パレード参加後、北口本宮富士浅間神社において婦人会では踊りを奉納させていただきました。

夏山登山の安全祈願や穢れを払う「夏越大祓」、「お道開き」などの儀式にも参加させていただきました。大変貴重な体験ができたと感じております。



恩賜林草取り



7月12日、恩賜林庭園の草取りを行いました。

猛暑の夏としては、珍しく涼しい中で作業が始まりました。苦手な草取りも皆で取り組むと楽しく感じました。休憩時間の間も話に花が咲き、とても充実した時間になりました。

夢中になり過ぎて汗だくになりましたが、きれいになった庭園を見ると清々しい気分になりました。



富士登山競走給水ボランティア



7月25日、第78回富士登山競走が開催され、婦人会は中の茶屋にて、富士山の標高にちなんだ3776人のランナーの方々に、声援とともに水やレモンなどを提供しました。

富士吉田の冷たく美味しい水は、乾いた喉を潤し火照った体を冷やし、富士山

市民夏まつり

を目指すランナーの方々の力水となっているようでした。

朝早くからのお手伝いでしたが、給水ボランティアは、楽しく嬉しい経験でした。

7月28日、大勢の市民の皆様が集中、盛大に開催された富士吉田市制祭「市民夏まつり」において、婦人会総勢約90名により、市民の皆様にもなじみ深い吉田小唄や富士吉田音頭などを披露いたしました。

初の試みであった、皆が同じ方向を向いて4列で踊り進む「流し踊り」の隊形は、本町通りの夕暮れの奥に見える富士山も応援してくれて本当に素晴らしい風景となりました。



防災の日シンポジウム

9月7日、ふじさんホールにおいて、富士吉田市防災シンポジウムが開催され、参加して参りました。

矢守先生による「避難スイッチをつくらう」と題した講演や、「噴火警戒レベルつてなに？」というテーマの防災ディスプレイセッションでは、「富士山噴火 いつ逃げる？」の答えを考える良い機会をいただきました。

また、駐車場のイベントブースでは、防災士の方による、もしもの時に活用できる知恵を教わり、充実した防災の日となりました。



交通安全・防犯教室



9月26日、富士吉田市民会館小ホールにおいて、富士吉田警察署主催の秋の交通安全運動のイベントとして、一日警察署長に委嘱されたタレントの宇野乃さらさんと署員の方による交通安全・防犯教室が行われ、盛り沢山の楽しいお話を聞くことが出来、有意義な日になりました。

「ながら運転」調査

交通安全母の会の活動として、昨年まで行っていた「シートベルト着用」調査



赤十字寄付金企業訪問

10月1日、あいにくの雨の中、初の試みで、日本赤十字社山梨県支部佐藤様・芦沢様、地域福祉課西谷様と市連8名で市内企業23軒を訪問し、日赤会員登録及び会費のご協力をお願いいたしました。各企業様の快い対応に感謝しております。

この活動を通して、今後日本赤十字社山梨県支部の活動が益々発展いたしますことをお祈り申し上げます。皆様、本当にお疲れさまでした。



太陽の集い

を、令和7年度より「ながら運転」調査へと変更いたしました。調査結果では、携帯電話等を使用しながら運転する方はほとんど見られず、「ながら運転防止」の意識がしっかりと定着していることを、長年の交通安全の啓発活動の成果として実感しました。今後も地域の交通安全を守るために、是非とも継続して取り組んでいきたい活動です。



10月4日、太陽の集いが行われました。各ボランティア団体が協力し、様々な障害をお持ちの方やその家族の方々と、パン食い競争・大玉転がし・お宝釣りに総勢106人の参加となり、婦人会の8名も一緒に楽しみました。

スポーツを通して障害者の方々の頑張る姿を目にし、理解し、同じ楽しみを分かち合うことが出来ました。

会場一体が笑顔いっぱいなのやさしさに包まれた運動会でした。

秋の研修旅行



10月21日、秋の清々しい空気を感ずる長野へ出かけました。

小布施では散策をしながら買い物を楽しみ、その中で長野の良さや特産物を知ることができました。その後の信州フルーツランドでは童心を思い出しながらりんご狩りを体験し、旅の締めは善光寺を参拝。日本の文化や自然の豊かさを改めて感じ、心温まる素敵な一日となりました。

赤十字傾聴ボランティア



赤十字奉仕団として、高齢者施設「芙蓉荘」にて、デイサービス利用者の方々に、月に1回傾聴ボランティア活動を行いました。

朝のラジオ体操から始まり、その後利用者さんの席を回りお話を伺いました。人生の先輩方のお話は興味深く、思っていた以上に話がはずみました。

みなさん朗らかに話をされていたり、ビデオに合わせて楽しそうに体操をされていたり、私達も笑顔で過ごすことが出来ました。

赤十字ボランティア基礎研修会

11月13日、甲府市の日本赤十字山梨県支部でボランティア基礎研修会があり、日本赤十字社の始まり、赤十字の活動などを研修して参りました。

赤十字と言えば血液事業（献血）を思い浮かべると思いますが、その他に、災害救護・医療事業・社会福祉事業等、多岐にわたり活動していることを知りました。「人間を救うのは人間だ」という大切なことを学んだ、とても有意義な研修会でした。



新年互礼会



年明け1月15日、ご来賓の皆様、歴代連合会長の皆様、婦人会OBの皆様、そして現役婦人会役員が一堂に会し、新年を祝いました。

ご臨席いただきました皆様へ日頃の感謝を込め、そして地区役員の活動総決算として各役員が全力で盛り上げ、親睦を深めました。

市連、そしてそれぞれの地区において、婦人会活動で築いてきた絆は、これから先の婦人会活動を支える力となっていくことを心から願います。

赤十字献血ボランティア

6月13日と1月28日、赤十字奉仕団として献血のご案内係をお手伝えしました。多くの方々に献血の輪が広がることを心から願っています。

昆布担当より

令和7年度も、市民の皆様、各地区の婦人会役員の方々のご協力により、乾燥昆布・生わかめ等の販売を行うことが出来ました。ありがとうございました。

令和8年度も回覧板にて注文販売を行う予定ですが、注文書が回覧板でまわらない地区の方などは、お知り合いの婦人会役員へ直接ご注文いただいても結構です。ぜひ多くの方にご賞味いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



ぜひご賞味ください！

●北海道恵山産 天日干し昆布



賞味期限2年 (常温)

1袋200g

990円 (税込)

●国内産 とろろ昆布



賞味期限10カ月 (常温)

1袋80g

520円 (税込)

●鳴門の 塩蔵生わかめ



賞味期限4カ月 (冷蔵)

1袋400g

730円 (税込)

●エキストラバージンオリーブオイル



1本450g

2,500円 (税込)



ふれあい募金 (1円玉募金)

今年度も市民の皆様のご協力を頂き、募金活動ができました事に感謝いたします。下記の通り配分し、お贈りします。ありがとうございました。

◎ふれあい募金 (1円玉募金) のご報告

・下吉田地区	51,500円	・上吉田地区	40,000円	
・大明見地区	50,000円	・市連	5,438円	
			合計	146,938円

◎配分内訳

・富士吉田市社会福祉協議会	100,000円	
・赤い羽根共同募金	30,938円	
・令和7年台風15号静岡県災害 (日本赤十字社)	10,000円	
・市連災害備蓄金	6,000円	
合計		146,938円

令和7年度役員

民謡舞踊指導	監 顧	理	副会
// //	// //	// //	// // 会長
	事 問	事	長 長
宮 堀 勝 渡 渡	(大明見地区会長)	(上吉田地区会長)	(下吉田地区会長)
下 内 俣 辺 邊	桑 原 栄 津 子	宮 下 幸 子	渡 榎 桑 渡 渡
和 洋 寿 照 春 美			邊 田 原 辺 邊
美 子 子 美 美			典 智 美 津 枝
			子 香 枝 代 利
			富 美 江

各地区婦人会の様子

下吉田地区



市民夏まつりにて

5月から始まった市民夏まつりの踊りの練習、6月の赤十字本社見学、白装束での開山前夜祭富士講パレード、恩賜林草取り、富士登山競走給水ボランティア等々…あつという間の1年でした。
たくさんの方には、大勢の会員と共に楽しく賑やかに活動することが

きました。どれもみな貴重な経験でした。

1年間、快く婦人会活動に参加してくださった会員の皆様、そしてご家族の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

上吉田地区

霊峰富士の下、上吉田地区は4月の胎内祭、開山祭、火祭り・すすき祭りと、神事祭りに参加し、地元の伝統行事に触れ大変貴重な体験をさせていただきました。

特に8月27日のすすき祭りは、旧年



すすき祭りにて

度役員の皆様の支援を受け、すすき玉串の製作・販売・奉納舞踊と、酷暑といわれる夏、汗を流して浴衣姿で励んだことは良い思い出です。

最後に1年間の活動を通して、参加しお力添えくださった市連合婦人会の皆様に心より感謝申し上げます。

大明見地区

大明見地区は6名と少人数ですが、4月の市婦連定期総会、地区では毎月色々な行事に参加しています。

5月に開催された植樹祭は、急な坂道を登り杓子山に400本弱の植林を

行い、シカや野生動物から苗木を守る為、ネットを装着したりしました。

また、今年の文化祭は、堀内市長にご参列頂き、開会式に授与式を行うことが出来ました。

本当に沢山の行事がありますが、会員総出で、楽しく助け合いながら充実した活動を行っております。



杓子山植樹祭にて

編集後記

今年度も、充実した活動に「笑顔の花」が咲きました。そして、今年度初の試みとしてチャレンジした活動においては、更にたくさんの方の「笑顔の花」が咲き、満開となりました。
関わってくださったすべての皆様にご感謝申し上げます。